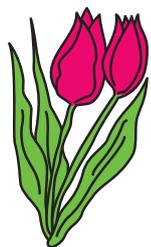


足立区青少年委員会だより



区の花：チューリップ

あだち

第78号

令和7年2月26日

編集発行

足立区青少年委員会

広報部

足立区教育委員会

青少年課

足立区青少年委員会ホームページ



<http://adachi-seishounen.jp>



誘導(広場)



着付け直し



裾直し(会場)



誘導(会場)

青少年委員会は 二十歳の集い を応援しています

新たなチャレンジ



足立区青少年委員会会長

高橋 将郎

令和7年は「昭和100年」にあたります。私たちが生まれ育ってきた時代から平成・令和となり日々変化するなかで成長していく子供たちに何が出来るだろうか、と考えることがあります。

コロナ禍後、学校・地域行事が再開して活躍の場が増えてきたなかで、改めて青少年委員が地域の繋がりの要として積極的にチャレンジすることが必要だと感じております。青少年健全育成団体の一員でもあります。青少年委員の立場から協力でき、リーダーシップを発揮することが今後の課題だと思います。

そのためには、青少年委員がよりよく活動するための土台作りも大切で、委員の皆さまが活動する意欲を後押しできる会でありたいと思います。何が必要で、何が出来るかを委員の皆さまの様々な意見を聞きながら委員会としての変革も視野に入れていく時期と考えています。

青少年委員が中心に立って学校の担い手の一員になれるように、子供たちのための活動を展開していきたいと思えます。

あだち区民まつり

「A-フェスタ2024」

広報部 佐貫 裕見子

10月12日・13日に2日間とも晴天に恵まれ、あだち区民まつりA-フェスタが荒川河川敷にて盛大に開催されました。

青少年委員会はわんぱくゾーンで今年も「ミニSL」と「1円玉アート」・「ウォーターコイン」のブースを運営、フェスタを盛り上げました。特にミニSLは大人気。2日間ずっと大行列が続いていました。他にもステージゾーン・ショッピングゾーン・エキサイティングゾーン・わくわく体験ゾーンの5つのゾーンで、大人も子供も一日中楽しめるおまつりとなりました。

初めて運営に参加しましたが、とても楽しかったです。これからも子供たちの応援団として、いろいろな行事に参加していきたいと思っています。



「ウォーターコイン」 入るかなあ



ミニSL

	1日目	2日目	合計
来場者	16万人	21万人	37万人
ミニSL	1,366人	1,689人	3,055人
1円玉アート (募金箱含む)	15,000円	30,418円	45,418円

※ウォーターコインはスタンプラリーのチェックポイントとなっていて終日長蛇の列でした

養護教諭との懇談会

第12ブロック 鈴木 妙子

第12ブロックでは、毎年の恒例事業として「養護教諭との懇談会」を企画しております。令和6年度は、青少年課 物江課長、青少年委員会 高橋会長、新田学園小学部 白石副校長をお招きし、12月13日に新田学園第一校舎新田ルームにて開催いたしました。

今年度は、新田学園中学部・浅井

主任養護教諭より、昨今の保健室利用の状況と健康診断の状況について発表していただき、その後、テーマ①受診率向上の取り組み、②来室者の状況、③ご意見・ご要望の3点に基づき、各校の先生方よりお話を伺いました。

特に印象に残ったのは、「虫歯を治療した児童に賞状をあげて讃えるようにしたところ、受診率3割から4割を目指せるようになった」「外国人の児童とのコミュニケーションとしてタブレットの翻訳機能が有効だった」など、工夫を凝らして実績を上げておられる点でした。

さらに、不登校問題についての対策として、登校サポートの紹介など、地域コーディネーターである青少年委員への期待や要望等についても話し合いが行われました。

今回の懇談会を通じて、各校の抱える各々の課題が共有でき、今年度から青少年委員になった私としては、今後の活動への決意を新たにしました。有意義な懇談会となりました。



発表の様子

近藤区長と

青少年委員会役員で懇談会

副会長 小林 理恵子

9月9日、区役所庁議室にて各専門部長より活動内容の説明、各ブロック長からは地区対での活動および担当校の悩みや抱えている問題など多くの情報提示がされました。それに対して現状報告やアドバイスを近藤区長や中村教育長よりいただき、また、青少年委員会の活動を区の広報紙に載せてはとの提案もありました。

私たち青少年委員会も行政も、子供たちの居場所を作るために意見を交わしながら形にこだわらずに協力体制を築いていくことの大切さを認識でき、とても有意義な懇談会になりました。



区長、教育長と役員

日帰り研修会に参加して

広報部 高橋 美由紀

11月17日、日帰り研修会が行われました。「鋸南自然の家」の視察など、研修行程も子供たちが辿るコースでした。

車中DVD研修では、スマートフォンをめぐる様々な犯罪やトラブル、その被害防止策や対応策を学びました。日頃からの子供たちとの接し方を考える良い機会となりました。

海ほたるでの小休止のあと鋸南自然の家を目指します。保田の港や町が見下ろせる山間にその姿はありました。令和元年の房総半島台風で大きな被害があったようですが、建物も敷地内もきれいに整備されています。研修部古川部長の案内で子供たちが過ごす居室や食堂、浴室、体育館、ホール、キャンプファイヤー場を見学しました。足立の子供たちの成長を見守ってきた鋸南自然の家ですが、令和7年度から3年間の大規模改修工事で休館となります。新



1階ホールにて

しく生まれ変わった姿を楽しみにし、今度はゆっくりと訪れたいと思います。



道の駅 保田小学校
[里山市場きよなん楽市]

しく生まれ変わった姿を楽しみにし、今度はゆっくりと訪れたいと思います。



レクリエーションルーム(体育館)

鋸南自然の家の後は、廃校となった小学校を利用した「道の駅 保田小学校」を視察しました。教室は懐かしの給食が味わえる食堂や宿泊施設などに、体育館は特産品を販売する市場になっており、道の駅はまさに地域の活性化につながっていました。

他にも富津市の金谷港からのフェリー乗船などもあり、とても充実した研修会でした。

広報部取材シリーズおじゃまします！ 文教大学100円朝食

広報部 三國 美香

10月10日に文教大学東京あだちキャンパスで提供されている100円朝食に取材でおじゃましました。学生支援の一環として、父母と教職員の会と大学から予算を支出し、学生のみ100円で朝ごはんが食べられるという耳を疑う情報でした。しかし、当日拝見したメニューは100円でありながら、量・栄養価も満点、何よりも温かい料理と優しい声掛けで朝食がいただける大変有難



取材日の100円朝食

いものでした。

足立区も「早寝・早起き・朝ごはん」という健康生活のスローガンがあります。言うは易く行うは難しいテーマとなっているのが現状のようです。「食」は健康な生活を送るための基本であり、近頃は嗜好や簡便さが優先され、感謝の念がとかく忘れられていることが問題であるように思われます。

100円朝食は、食堂スタッフの熱意と相まってアットホームな雰囲気の中で感謝と朝食の重要性を再認識させられました。



食堂にて

凧のデザインコンクール

表彰式

12月1日「凧のデザインコンクール」が開催されました。近藤区長をはじめとした審査員による選考が行われ、入選14作品が表彰されました。

10月5日に予定されていた「第25回足立凧まつり」が雨天により中止となったため代わりとして開催されました。



金賞(足立区青少年委員会会長賞)の作品を持つ高橋会長

二十歳の集い



東京武道館：令和7年1月13日(月・祝)

対象者：6,220人

参加者：3,395人

実行委員氏名

蘆田優里菜	池田稔基	稲景都	今石舞美	沖崎裕哉	小高颯太	佐藤浩太	佐野祐太
津田航平	戸田柊也	中村優斗	服部日向大	林真緒	原田萌々子	源口士道	山口幸史朗

五十音順敬称略



二十歳の集いを終えて

実行委員 中村優斗

令和7年1月13日、東京武道館にて「二十歳の集い」が開催されました。同じ年齢を迎えた多くの人たちとともに、この節目を祝えたことをとても嬉しく思います。実行委員として準備や運営に関わる中で、予想以上に大変なこともありましたが、メンバーと協力し合い、無事に式を終えることができ、ほっとしています。

式典の第一部では、誓いの言葉を読ませていただきました。とても緊張しましたが、それと同時に達成感もあり、良い経験となりました。第二部では、西新井中学校の吹奏楽部の皆さんによる素晴らしい演奏が会場を盛り上げてくださいました。式の最後に行われた抽選会では、豪華景品が数多く用意されていたのもあって、大盛り上がりでした。式典後は、久しぶりに再会した友人たちと懐かしい思い出を語り合い、楽しい時間を過ごしました。二十歳を迎えた今、これまで支えてくださった方々への感謝の気持ちを忘れず、これからは自分が誰かを支える存在として行動していきたいと思っています。

二十歳を迎えた皆さんへ

青少年委員会副会長 遊馬正子

二十歳を迎えられた区内6220名の皆さん、誠におめでとうございます。未来への夢や希望、新たな決意に胸を膨らませていることと思います。

近年、気候変動や多発する自然災害、国際情勢の不安定化など、皆さんを取り巻く環境は日々大きく変化しています。それらが社会や私たちの生活環境に影響を与え、人々の価値観までもが目まぐるしく変化している状況です。

皆さんにはどのような状況であったとしても、失敗を恐れず果敢に挑戦しながら目標に向かって進み続けていただきたいです。

これからの道には、多様な選択肢と機会が待ち受けています。大きな夢と希望を胸に、自分らしくウエルビーイングな人生を歩んでいってほしいと願っています。どんな時も支えてくれる人が必ずいます。

今年の「二十歳の集い」のテーマ、「躍動せよ新星」かけがえのない経験を胸に〜

皆さんのこれからの活躍を祈っています。

江北小学校創立150周年を迎えて 第2ブロック 原 陽子

江北小学校が創立150周年を皆さまと共に迎えられました事をとても嬉しく思います。こうして150周年を迎えられた事は学校の先生方、保護者の皆さま、そして江北小学校を取り巻く地域の皆さまのお力添えがあったからこそです。改めて感謝申し上げます。

江北小学校は明治7年に創立し、令和4年には高野小学校と統合、現在の校舎にて新たな歴史を紡いでおります。



5、6年生による合唱

「子供たちのために」を合言葉に活動している父母の会と日々子供たちのためにご尽力いただいている学校の先生方のお力になれるよう、微力ではございますが青少年委員として活動して参りたいと思います。

江北小学校 P T A は令和6年度より「父母の会」へ移行しました。多様性の時代に合ったオープンな考えを持ち



150周年を祝う「みこしパレード」

千寿桜堤中学校創立20周年 第1ブロック 白井 智子

11月16日、千寿桜堤中学校の創立20周年記念式典及び祝賀会が開催されました。

周年の年度初めから学校各行事に「20周年」と冠をつけました。運動会「桜魂祭」では学年・クラスの枠を超えて縦の繋がりを、合唱コンクール「桜友会」では学年・クラスごとの横の繋がりを、P T A・開かれた学校づくり協議会主催の「チェリーフェスタ」では、舞台発表と模擬店が行



記念式典

われ、生徒記念品として作成した記念Tシャツを販売したところ、地域の方が多く購入され、地域との繋がりを強く感じ、周年への気持ちを盛り上げてきました。式典に先立って3年生全員による合唱「次の空へ」校歌の2曲が披露されました。

記念式典は、近藤区長をはじめ大勢の来賓の方々に出席をいただき、齋藤由美子校長の式辞で、厳粛に執り行われました。

祝賀会は、一変し鏡開きからの乾杯で始まり、アトラクションの太鼓披露・ダンス披露と盛大に盛り上がりしました。歴代校長の桜堤中への愛のこもったスピーチもあり和やかに会が進み最後は万歳三唱で締めくくりました。

旧二中と十六中の良い伝統が引き継がれ千寿桜堤中が誕生し地域に見守られながら20年が経ちました。生徒たちの「桜中魂（さくちゅうだましい）」のもと成長していく学校をこれからも温かく見守っていききたいと思っております。



「チェリーフェスタ」での模擬店

令和6年度 周年事業実施校一覧

実施日	学校名	周年数	開校年月日
11月 2日	北三谷小学校	70周年	昭和30年2月1日
11月 9日	千寿双葉小学校	20周年	平成17年4月1日
	西新井中学校	50周年	昭和50年4月1日
11月16日	梅島第二小学校	80周年	昭和19年6月1日
	千寿桜堤中学校	20周年	平成17年4月1日
11月30日	江北小学校	150周年	明治7年11月1日
	西新井第二小学校	60周年	昭和39年9月1日
12月 7日	東綾瀬中学校	60周年	昭和39年4月1日

研修部の活動

研修部長 古川 美奈子

11月17日に、足立区の多くの子供たちが利用する「鋸南自然の家」と小学校施設をリニューアルし活用されている「道の駅 保田小学校」を視察しました。日帰り研修会ということで、駆け足でしたが、子供たちがどのように過ごし、活動しているのかを知ることができました。バスの中では、DVDによる「スマートフォンによる犯罪」から子供たちを守るために、日頃の接し方などを学び、1日を通し有意義な研修となりました。今後、全体研修会を企画しております。「チーム研修部」一丸となって取り組んでまいります。



鋸南自然の家

新任委員紹介



令和7年1月14日から委嘱
第1ブロック
千寿双葉小学校担当
茂木 裕司



令和6年12月16日から委嘱
第9ブロック
花畑中学校担当
福島 敬之

1月16日区庁舎14階ソラノシタにて、中村教育長をはじめ数多くの足立区の子供たちに関係するご来賓の皆さまをお招きしての新春教育懇談会が開催されました。ご来賓を招いての新春教育懇談会が開かれるのは5年ぶりで、各テーブルでは、話が盛り上がりました。毎年恒例の事業部企画のアトラクションにて親睦を深め、最後は青少年対策地区委員会会長連絡協議会 松野副会長により、「子供たちのため、子供たちに関わる団体の発展のため、そして私たちの健康のため」のご挨拶でしめていただきました。年の始まりに、気持ちを新たにしました。

新春教育懇談会



事業部が作製した「1円玉アート」に善意の1円玉が多数投入されました



足立区社会福祉協議会に寄付しました

11月1日、あだち区民まつりで出展した「1円玉アート」と設置した募金箱の合計45,418円を足立区社会福祉協議会に寄付しました。

足立区社会福祉協議会に寄付

編集後記

広報部副部長 佐藤 健二

今号で紹介させていただきました、文教大学あだちキャンパスの100円朝食の取材に、私も同行しました。低価格で栄養バランスのとれた朝食を学生に提供し、毎日きちんと朝ごはんを摂る習慣を身に付けてもらおうという学生支援の取り組みは、生活リズム作りという観点からも大変勉強になりました。

その文教大学では、学生有志団体が地域の子供たちにお弁当を配布する「ぶんこ食堂」を月1回開催しています。子供の居場所作りを目指して行っている活動です。学生中心に子ども食堂の活動を展開している点において、同じ青少年健全育成に携わる者として頭が下がります。

子ども食堂というと、貧困に苦しむ方々を支える目的が中心ではありますが、地域に住む親子連れや高齢者の方々も足を運び、まさに世代間交流や地域を繋ぐ重要な役割も担っているようです。

是非機会を作って、直接取材に出かけて、実際に活動されている学生の皆さんの声を聞き、参加されている方々の笑顔を見ることができたら嬉しいです。取材した内容は、広報紙やホームページで発信していきたいと考えております。

私たち広報部は、今後も様々なトピックスを皆さんにお届けするためにも、活発な取材を続けて多くの情報を収集し、青少年委員の活動啓発と子供たちや地域を繋ぐ様々な活動を発信していきます。これからも多くの情報を広報部までお寄せ下さい。私たちは、皆さん一人ひとりの声を大切に活動してまいります。